

ローカルSDGs四国 地域エネルギー分科会

第五次環境基本計画を四国で
具体化・事業化する

2022.02.12

理念・方針・組織

理念 『四国のみらい = RE自立×中小企業憲章』

課題と方針

- ① 四国の資源を活用した再エネの導入
- ② 健康で心豊かな暮らしの実現 **の事業化**

組織

四国4県中小企業家同友会環境経営委員会+市民

課題と方針



① 四国の資源を活用したREの導入

- 四国地域新電力の推進 REアクション
- 営農型太陽光熱発電の推進
- 未利用系バイオマス資源(木質・廃棄物等)を活用した地域づくり
- 小水力発電の推進、水利用の改善
- REによる地域づくりに関する環境金融の拡大

②健康で心豊かな暮らしの実現

- 低炭素で健康な住まい ZEHの普及 住宅の高断熱・高気密改修の推進
- 食品ロス削減の推進
- 徒歩・自転車移動による健康寿命の延伸
- テレワークなど働き方改革の推進 環境面における効果の「見える化」
- 新たな木材需要の創出 CLTなど木材利用拡大
- エコツーリズムなどの推進
- 鳥獣捕獲強化・害獣被害対策
- マイクロプラスチックを含む海洋ごみ対策の推進
- 農福連携 6次産業化の推進

11 住み続けられる
まちづくりを



地域エネルギー分化会 令和3年度重点三分野

①野間地区再エネプロジェクト

- ・今治市野間地区に営農型発電の実践事例をつくる

②四国版LED'S（PPAモデル）の普及

- ・太陽光パネル無料設置モデルを確立する

③市民への啓蒙活動、バックアップ

- ・市民の環境意識を高める取り組み

四国内でエネルギー自立
環境配慮が当たり前
若い人の就業機会up↑

①野間地区再エネプロジェクト@今治

- ▶ 野間小学校エリアに、一基目設置完了。系統に接続済み、売電待ち。
- ▶ 飼料米の生産と発電を両立させる取り組み。
- ▶ パネル設置面積約一反、パネル出力72kw、パワコン出力40kw。



2 飢餓を
ゼロに



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに





②四国版LED'S（PPAモデルの普及）

LED'Sとは

「Local Energy Direct Supply」の略。住宅の屋根に、住民の費用負担なく太陽光パネルと災害用電源としての小型蓄電池を設置するというもの。

→実行するために「合同会社青い国RE」を設立

- ▶ 1社10万円程度で出資者を募って設立。
（令和3年5月）
- ▶ 今後はこれを母体に、自社ビルを持つ中小企業家同友会会員企業を中心に賛同者を募り、実行していく。
- ▶ その後その他の企業、市民にも賛同者を募る

③市民への啓蒙活動、バックアップ

・愛媛県の助成金（三浦保愛基金）、および環境省委託事業を活用し、予算を確保し勉強会、環境イベントを複数回行った。

4 質の高い教育を
みんなに



17 パートナシップで
目標を達成しよう



Route317プロジェクト

キックオフ勉強会 & ワークショップ

国道317号線は、本州からしまなみ海道、今治からは山間部を通り松山市に抜ける道路です。周囲は瀬戸内海や溪谷などの美しい自然、魅力的な温泉地など豊かな資源があります。しかしこの地域は行政区分として松山、今治に分かれており、一体感に欠けるのも事実。

そこで本プロジェクトでは、松山今治を一帯の地域と捉え、国道317号線をシンボルとして、ワーケーションやマイクロツーリズム、再生可能エネルギーなどで地域内の経済循環を生み出すことをめざします。

地域の未来のために、垣根を超えて一緒に考えませんか？

講師：阿部裕志

1978年愛媛県新居浜市生まれ。大学院（工学研究科）修了後、トヨタ自動車の生産技術エンジニアとして働く。しかし、現代社会のあり方に疑問を抱き、2008年海士町に移住。起業。島のビジョン・戦略・プロジェクトを生み出す地域づくり事業、トヨタ・日立・リコーといった島外の企業や自治体、大学の研修を島で行う人材育成事業、島から温かい未来をつくる叡智を広げる出版事業（出版社：海士の風）を立ち上げる。

・株式会社風と土と 代表取締役
・AMAホールディングス株式会社 取締役
・環境省、プラットフォームのあり方に関する検討委員



令和3年6月27日

(日) 13:00~

講演 & ワークショップ

お話を聞き、ワークショップで意見を出し合い、今後につながるネットワークを作しましょう。

日時：令和3年6月27日（日）13:00~17:00
場所：鈍川温泉 カドヤ別荘
〒794-0121 愛媛県今治市玉川町鈍川甲280

参加費：無料 定員：30名程度
申込/問合せ：メールにて要事前申し込み
一般社団法人をかしや info@wokasiya.jp

主催：一般社団法人をかしや
共催：愛媛県中小企業家同友会環境経営委員会
その他：新型コロナウイルス防止のためできるだけ三密を避けた形で実施します。手指の消毒、マスク着用にご協力ください。
感染状況によってオンライン開催に変更する場合があります。

時間	内容
12:30	鈍川温泉 カドヤ にて受付開始
13:00	勉強会開始。環境省より「地域循環共生圏」について解説。のちお互いを知る時間。
13:30	講演「ないものはない」地域内経済循環を生み出す海士町の取り組み
14:30	講演終了、Q&A、休憩
14:50	ワークショップ、みんなのアイデアを出し合おう！
16:15	鈍川溪谷観察と資源調査 ～鈍川溪谷を歩いてみよう～
17:00	終了

※本事業は、環境省 地域循環共生圏作りプラットフォーム事業の一環として実施いたします。

マイクロ地域循環共生圏をつくらう！
～星山からはじまる循環型社会～

ブラアガタ
BURA AGATA

第1回 11月21日（日）10:00~15:00

「水」をテーマに阿方（あがた）地域をぶらぶらと歩き、景観に秘められたナゾを探ります。阿方にはたくさんの水路があります。大型スーパーの駐車場にもある。これは田に水を入れるための農業用水路ネットワーク。この水路を下流からめぐる、水源のため池まで歩き、農業と地域のつながりを再発見します。そしてこのため池、なんと江戸時代からあるらしい。

また、阿方にこれから設置する「ソーラーシェアリング」の予定地も見えます。田んぼの上にソーラーパネルを設置し、農業と発電を両立させる「未来の農業」の仕組みを学びます。さらには小さなソーラーパネルを使って、マイクロ太陽光発電システムを組んでみましょう。一度やったら「電気は自分で作れる」ことがわかるはず。

伝統的な農村地域の暮らしの中に、持続可能な社会のヒントが隠されていることを体験できる1日です。

※地域循環共生圏とは…いろいろな資源：自然、エネルギー、もの、人が地域の中で巡ることで、環境と調和しながら経済発展し、人間が幸せに暮らしているしくみ。地域の特性・強みを生かすことができます。



会場：今治市阿方地域と集会所
集合場所：マックスバリュ阿方店
対象：小学生以上なら誰でも
定員：20人程度
参加費：無料
講師：竹内 洋行氏（次世代農家グリーンサム）
持ち物：活動しやすい服装、歩きやすい靴、水筒と飲み物、お弁当、カッパが傘
（雨天決行、カッパがおすすめ、100均でOK）

問合せ先：一般社団法人をかしや
info@wokasiya.jp
申し込みフォーム
<https://forms.gle/TKxXmuzG4d7xLnLK9>

この活動は「三浦保愛基金」の助成を受けて実施します。

マイクロ地域循環共生圏をつくらう！
～星山からはじまる循環型社会～ 最終回

シゼンタイ
SHIZENTAI

佐伯 康人氏 講演会 & ワークショップ

2月23日（水・祝）13:00~16:00

全国を行脚し、自然栽培（農業、肥料を一切使わない農法）を指導している佐伯 康人さんを講師に招き、お話を伺います。佐伯さんは全国の障害者が自然栽培に取り組み、ニッポンを元気にワクワクさせる「自然栽培パーティー」という農福連携の活動もされています。

そんな佐伯さんが新たに立ち上げた農業コミュニティが「シゼンタイ」。自然栽培を通じて、農業の後継者問題、障がい者雇用、日本の食料自給率の向上の解決を目指しています。

今回は佐伯さんにさまざまなお話を伺います。農業なくてもちゃんと収穫できるの？農福連携ってナニ？耕作放棄地どうしよう、、、。そんなこととことん聞いちゃいましょう。

そしてお話の後は、ワークショップ。お茶でも飲みながら、多様な参加メンバーとざくばらんに語り合しましょう。自然栽培や障害者福祉、農福連携など、誰もがのままでいられる持続可能な社会の実現のため、一緒に語り合ってみませんか？

※地域循環共生圏とは…いろいろな資源：自然、エネルギー、もの、人が地域の中で巡ることで、環境と調和しながら経済発展し、人間が幸せに暮らしているしくみ。地域の特性・強みを生かすことができます。

講師：佐伯 康人氏

プロフィール

1967年北九州市生まれ。小学生時代に愛媛県松山市に転居。若い頃よりバンド活動を開始。1992年メジャーデビュー。しかし芸能界の風習になじめず音楽活動を休めて松山に帰る。2000年に三つ子が誕生。三人とも、運動機能に障がいをもって生まれた。2003年に居宅介護施設「パーソナルアシスタント 青空」を設立。2016年に「一般社団法人 農福連携自然栽培パーティー 全国協議会」を立ち上げる。2022年「シゼンタイ」立ち上げ。



日時：令和4年2月23日（水・祝）

スケジュール：12:30 受付開始

13:00 開会、どんな人がきてるかな？

13:20 佐伯さんの講演

14:30 ワークショップ 16:00 終了

会場：今治地域循環共生圏 センター4階研修室

対象：自然栽培、有機農業、農福連携、再生可能エネルギー、SDGsなどに興味ある方、つながりたい方

定員：50人

問合せ先：一般社団法人をかしや

info@wokasiya.jp

申し込みフォーム

<https://forms.gle/xyxpeBHQzPYvi8ZP8>

※この活動は「三浦保愛基金」の助成を受けて実施します。



ご静聴ありがとうございました。